

## 三井製糖と大日本明治製糖が経営統合に向けた協議開始へー今後の協議の進捗を見極め、格付に反映

以下は、三井製糖株式会社（証券コード：2109）が大日本明治製糖株式会社との経営統合に向けた協議開始を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 本日、当社は大日本明治製糖との経営統合に向けた協議開始を発表した。当社を親会社とし、大日本明治製糖を子会社とする株式交換を行う。同時に、当社は当社事業を承継する事業承継会社との間で会社分割を行うことにより、事業に関する権利義務等を承継させ、グループ経営管理及び資産管理事業を行う持株会社となる予定である。20年9月末に最終契約の締結、その後の両社の株主総会の承認を経て、21年4月1日付で経営統合する計画である。
- (2) 国内における砂糖需要の減少、TPPなどの経済連携協定の進展により、精製糖メーカーを取り巻く環境は厳しさを増している。今般の経営統合は、当社の事業基盤の強化や競争力向上につながる事が考えられる。今後、両社は統合検討委員会を設置して基本事項及び本経営統合比率などを協議していく計画である。経営統合の帰趨、当社の業績や財務構成に与える影響を確認し、格付に反映させていく。

(担当) 井上 肇・三浦 麻理子

### 【参考】

発行体：三井製糖株式会社

長期発行体格付：A-

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル